

地球環境とともに

基本的な考え方

京王グループは「環境にやさしく」という「京王グループ理念」に基づき、2004年に「京王グループ環境基本方針」を、2010年に「生物多様性行動指針」を定め、環境保全活動の推進のため、環境マネジメントに取り組んでいます。

低炭素社会を目指して

省エネルギー化への取り組み



燃料電池バス



ハイブリッドタクシー

京王電鉄バスグループでは、水素と空気中の酸素で発電し走行する燃料電池バス(4台)やハイブリッドバス(28台)、ライト・照明類などをLED化した車両を導入しています。また、西東京バスではハイブリッドバスの導入や電気バスの受託運行、京王自動車グループでは、ハイブリッドタクシーやアイドリングストップ機能付きタクシーを導入するなど、省

エネルギー化に取り組んでいます。

太陽光発電



宮古市の発電設備

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。2015年から相模原市の有地において、2019年から岩手県宮古市において、太陽光発電事業に取り組んでいます。

カーボンオフセット

保有物件におけるCO₂排出量削減努力により創出した超過削減量の一部を、カーボンオフセットとして活用し、高尾山エリアにおける周遊の際のCO₂排出量を実質ゼロとしました。



高尾線内の列車・ケーブルカーなどの運行、駅施設の電力使用、Mt. TAKAO号の運行など

保有ビルでの省エネルギー化によるCO₂削減量

循環型社会を目指して

海洋プラスチックゴミ問題への対応

京王プラザホテルチェーンでは年間約43万本使用していたプラスチックストローを、2018年12月より新宿・多摩・

地球環境とともに

八王子・札幌の4つのチェーンホテルで原則廃止し、紙製ストローへ移行しました。また、2022年4月1日に施行されたプラスチック資源循環促進法により、バイオマスを配合したアメニティ導入の取り組みを始めています。

その他、京王百貨店および京王ストアでは、お客様により一層のマイバッグの持参を呼びかけています。



紙ストロー

自然共生社会を目指して

京王クリーンキャンペーン



地域の貴重な自然環境の保全を目的に清掃を行う「京王クリーンキャンペーン」を、1991年から継続的に実施しています。グループ各社の社員をはじめ、一般の方にも多数ご参加いただいています。

多摩川源流域の森林保全

2021年9月に東京都水道局と「みんなでつくる水源の森」に賛同し「東京水道～企業の森」の協定を締結しました。

水道水源林の一部を「京王水源の森」とし、植栽活動を中心とした森林保全作業などを通じて、多摩川源流域の森林保全に貢献していきます。



森林再生への取り組み



日本山岳会「高尾の森づくりの会」は、裏高尾の小下沢風景林をフィールドに、50年、100年計画で、花粉の少ない森、多様で豊かな森の復元を目指してボランティア活動を続けています。京王電鉄はこの会の趣旨に賛同し、2002年から広葉樹の植樹用苗木約17,000本を提供するとともに、間伐作業などの育樹活動のお手伝いをしている他、森林作業や自然観察などを通じて自然の大切さを学ぶ「高尾の森親子森林体験スクール」を2008年から共催で開催しています。